

HERIKO SUMI

ヴァイオリン・リサイタル
鷺見恵理子



PROGRAM

～鷺見三郎に捧ぐ想いととも～
パガニーニ:24のカプリス 全曲

2025.5.23(金) 19:00開演 (18:30開場) 王子ホール

全席指定 ¥5,000 学生(U24) ¥2,000(税込)

※未就学児の入場はお断りしております。※学生券を購入の方は入場時に学生証をご提示ください。

〈チケット取扱い〉

オフィス諷雅 <https://www.officefuga.jp/> 03-5778-5288 (平日9:30～17:00)

◎チケットぴあ <https://t.pia.jp> ◎イープラス <https://eplus.jp>

◎王子ホール チケットセンター 03-3567-9990(平日10:00～18:00)

主催・お問い合わせ: オフィス諷雅 support@officefuga.jp

後援: 一般社団法人日本弦楽指導者協会 / いずみ会 / 桐朋学園子供のための音楽教室目黒教室 / マエストロ音楽院 / 鷺見恵理子ファンクラブ

一般発売
2024.12/14

〈大人が紡ぐムジカ〉

奥田佳道(音楽評論家)

時流におもねることなく、演奏家としてのキャリアを急ぐことなく、いつも人と音楽に想いを寄せてきたヴァイオリンの鷺見恵理子さんに、あらためて喝采を。

筆者は、2024年春にリリースされたパガニーニの「24のカプリス」作品1に次の賛辞を贈った。

大人が紡ぐムジカ(音楽!)としてのカプリス。驚がくの史実にも逸話にも事欠かないニコロ・パガニーニの逸品「カプリス」と言えば、いつだって超絶技巧が話題となる。それはその通りだが、歌の国イタリアで愛された鷺見恵理子さんのヴァイオリンは、ただ形を整えて終わることをよしとしない。パガニーニのもうひとつの本質であるベルカント(美しい歌)、カンタービレに想いを寄せ、古謡や舞曲に通じる楽節をひたむきに弾く。妖艶に歌いつつ、調べの背景や「ゆくえ」にも迫ろうとしているのだ。大人のヴァイオリンはこうでなくては。

2024年夏にバッハの協奏曲を弾き、秋はアメリカ、台湾の演奏家と交歓したが、リサイタルは久しぶり。ヴァイオリンの家から羽ばたいた鷺見恵理子さんは、迷うことなく「カプリス」全曲を選んだ。何と大胆な。でも彼女は「カプリス大好き、やはりこれを弾きたい」と微笑む。近年の歩みを映し出す芸術的な挑戦を満場で分かち合いたいものである。

Profile

鷺見恵理子(ヴァイオリン)

Eriko Sumi, Violin

「日本ヴァイオリン界の父」鷺見三郎を祖父に持ち、両親もヴァイオリニストという名門一家に生まれ育つ。5歳でルクセンブルク現大公御夫妻の御前で演奏。佳子内親王のブルー公式訪問前レセプションにて演奏。ジュリアード音楽院卒業。D.ディレイに師事。ミケランジェロ・アバド国際コンクールで優勝。同コンクール審査員。ミラノトレッタ賞受賞。リッカルド・ムーティ音楽監督イタリア・ディノ・チアーニ音楽祭に出演。パガニーニのカプリス全24曲演奏会をミラノの王宮、国内11都市で行う。東京交響楽団響、新日本フィル、ポーランド国立管弦楽団、ほか国内外の主要オーケストラ、ギトリス、ラカトシュなど世界的アーティスト達と共演。カーネギーホール、デイヴィッド・ゲフィン・ホール、サントリーホール、東京オペラシティ、タケミツメモリアルホール他で演奏。ブルガリア人民文化宮殿でのコンサートの模様が国営放送にて中継。ハンガリー国会議事堂では日本人初の演奏。CD「ノスタルジア」「パガニーニ24のカプリス 作品1」をキングインターナショナルから発売。各々レコード芸術誌の特選盤に選ばれ、奥田佳道氏の推薦によりNHKラジオ「クラシックの遺伝子」にて紹介される。TV「激レアさんを連れてきた」「しゃべくり007」「恋するクラシック」、サラサーテ誌の表紙を飾るなど各国のメディアに多数出演。鳥取ふるさと大使就任。桐朋学園子供のための音楽教室、マエストロラ音楽院講師。

※学生券をご購入の方は学生証のご提示をお願いすることがございます。
※未就学児の入場はお断りしています。※曲目・曲順、共演者など止むを得ず変更させていただく場合がございます。※公演中止以外での払い戻しは行っておりません。